

コミュニティスクールだより

No. 2

事務局

令和7年度 第2回 学校運営協議会

開催 6月14日(土) 10:00~11:30 場所 校長室

出席者(敬称略) <コミュニティスクール委員 6名>

武藤 貴子…地域学校協働本部コーディネーター, 富士見台地区協議会会長

内藤 恵美…健全育成推進地区委員会副会長

木村 一夫…学校施設開放委員会会長

瀬戸 宏…令和7年度PTA会長

阿部 美里…地域学校協働本部コーディネーター

小俣 弘子…校長 <事務局> 榎本 弘和…副校長

次第

- 1 会長あいさつ 会長 武藤 貴子
- 2 学校長あいさつ 校長 小俣 弘子
- 3 授業観察
- 4 協議

○各委員から 授業参観・今後の活動について

・授業観察をして、授業公開中ということもあり多くの保護者が来られていたが、学年で同じ内容の授業でもクラスによって保護者が教室後方で見ているクラス、保護者が児童の傍まで行き授業に参加しているクラスと違いがあった。公開時には保護者も参加できるような授業だと、より近くで児童の様子や先生の指導の仕方などを実感できて良い。

・家庭科の裁縫や調理実習では、教員一人では指導が難しく多くのボランティアを必要とすることがある。授業公開では保護者も参加しやすく、良い機会になると思われる。

・開放委員会のある団体で大人と子供、合わせて30名ほどが自転車で移動することがあり、その際自転車の交通ルールの認識が曖昧で統一されておらず危険だと感じた。学校では3年生で交通安全教室を行っているが、地域と一体となって安心・安全に繋がる取組みとして、児童と保護者、地域が参加できる自転車の交通安全教室の実施を検討していきたい。

・学区内には、坂で自転車のスピードが出やすい場所、道が複雑に交差している場所など危険を感じる場所が多い。また、歩道が狭い道路で自転車は歩道を走るのか、車道をはしるのか判断が難しいことも多い。大人が交通ルールを間違えているのを、子供が見て覚えてしまうのは危険なので、大人も参加する交通安全教室の実施には賛成。

・PTAとCSの関係を考えたい。PTAの活動は保護者の負担をどう減らすか、必要なところにPTAの仕事を残し、どこに負荷をかけるかを考えることが必要とされている。

・CSで決まったことでPTAに仕事を依頼し今よりさらに増やしていくことは考えていない。保護者の中からお手伝いを募るといった作業は地域学校協働本部で行う。教職員も保護者も年々入れ替わるが、地域では長年活動が続ける方が多いので、長いスパンで子供の安心・安全を見守っていききたい。

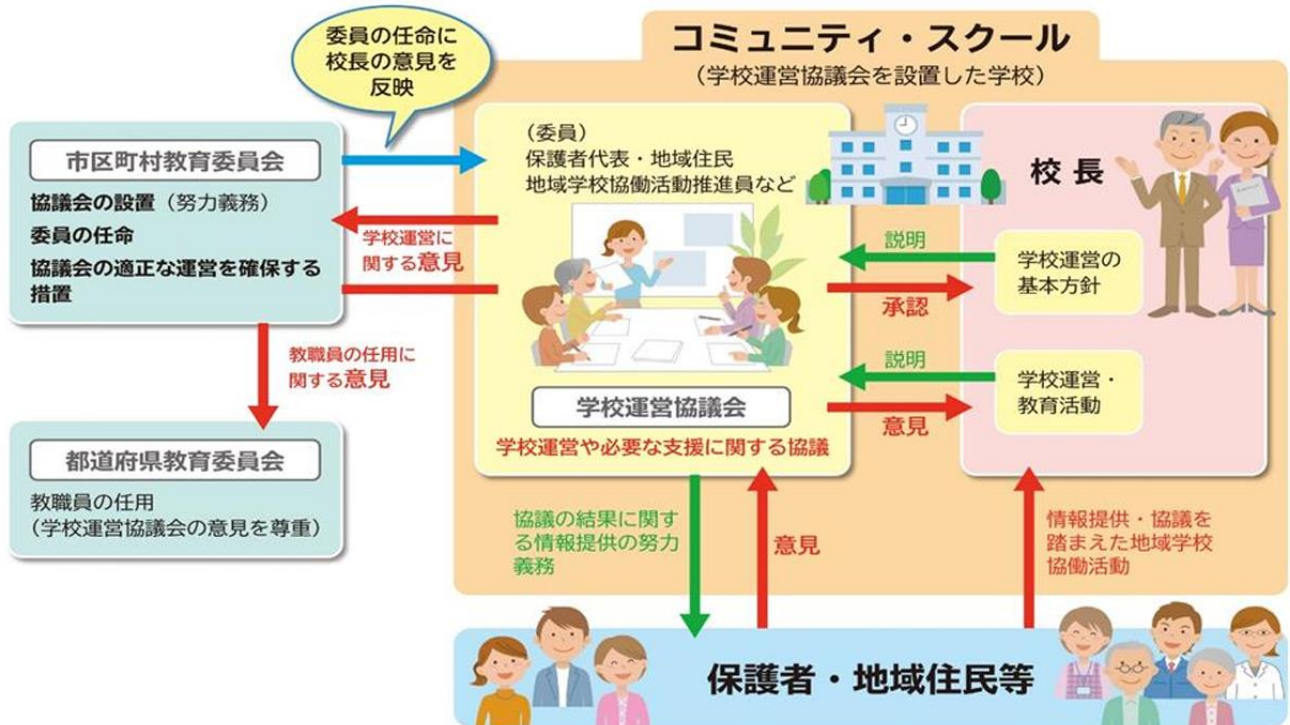
・自転車の交通安全教室にまだ具体的なイメージが作れてはいないが、地域・保護者・学校でそれぞれ子どもたちの為に何ができるかを検討していきたい。

5 次回の学校運営協議会について

・第3回 7月24日(木)15:00～ 場所：家庭科室

<コミュニティスクールについて参考資料 調布市教育委員会ホームページより>

コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）の仕組み



※文部科学省「これからの学校と地域」参照のうえ作成